



シルバー せんなん

第54号

平成30年7月発行

公益社団法人

 泉南市シルバー人材センター
 泉南市信達市場1584番地の4
 電話 (072) 483-8661

泉南市シルバー人材センター第8回定時総会



公益社団法人泉南市シルバー人材センター第8回定時総会を去る平成三十年六月七日（木）に泉南市総合福祉センター「あいびあ泉南」において開催致しました。

当日は会員487名のうち、会場出席者92名、委任状出席者276名、合計368名と広い会場にたくさんの会員が結集しました。

山内副理事長より、長引く不況に

平成三十年年度 第八回定時総会開催！

もかわらず、当センターにおいては、会員数の微減があったものの契約実績は目標額の103.8%と目標を上回る実績結果を収めることができたこと等、関係諸機関、発注者の皆さんへのお礼と今後の抱負をかねてあいさつをいたしました。

来賓の竹中勇人市長、河部優市議会議長よりご祝辞を頂き、来賓の紹介、祝電披露をもって式典を終了いたしました。

来賓紹介

泉南市議会副議長

古谷公俊氏

泉南市議会厚生文教常任委員長

堀口和弘氏

泉南市議会厚生文教常任副委員長

山本優真氏

泉南市健康福祉部長兼福祉事務所長

藪内良造氏

泉南市長寿社会推進課長

高尾年弥氏

祝電披露

大阪労働局職業安定部長

小浜淳司氏

大阪府商工労働部労働政策監

土肥洋子氏

公益社団法人大阪府

植田武彦氏

シルバー人材センター協議会会長

植田武彦氏

記念式典、健康講座に続いて、議長に丸山邦明理事を選任し議事に入りました。役員の選任については、金田理事長が退任され、新しく山内洋氏が理事長として選任されました。また川崎理事も本総会をもって退任されました。退任に際して、センターから感謝状をお送りいたしました。続きまして、付議された議案に対して、全会一致で承認及び可決されました。

全案件は、以下のとおりです。

第一号議案 平成二十九年度事業報告について

第二号議案 平成二十九年度収支決算報告について

第三号議案 公益社団法人泉南市シルバー人材センターの定款の一部改正（案）について

第四号議案 役員の選任について

第五号議案 平成三十年度事業計画について

第六号議案 平成三十年度収支予算書について

第七号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

第八号議案

第九号議案

第十号議案

第十一号議案

第十二号議案

第十三号議案

第十四号議案

第十五号議案

第十六号議案

事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな

会員数（平成30年6月末日現在）男366名 女121名 合計487名

就任のご挨拶



新理事長

山内 洋

このたび、泉南市シルバー人材センターの理事長に選任いただきました山内洋でございます。昭和六十二年の設立当時には、市の担当課員として設立にたずさわっておりました。三十一年の歴史と実績を誇る当センターの理事長の大役を仰せつかったことは大変光栄でありますと同時に皆様の大きな期待が感じられ、身の引き締まる思いでございます。

少子高齢化による働き手不足が続くなか、社会全体の労働力の一端を担っているシルバー事業の果たす役割は今後もますます重要になると考えております。

「自主・自立・協働・共助」の理念のもとにこれまで進めてこられたシルバー人材センターの運営方針や事業を受け継ぎ、何よりも会員の皆様が「働く」ことのなかで生きがいを見出し地域社会の一員として人生を送っていただけることを念頭にシルバー事業を進めてまいりたいと考えております。社会情勢はさらなる厳しさが続くと思われませんが、役員・職員の皆さんと力を合わせて努力してまいる所存でありますので、

前理事長に賜りましたご支援ご協力を重ねて賜りますようお願い申し上げます。私の就任のご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶



前理事長

金田 峯一

退任のご挨拶を申し上げます。

私は、平成十四年度に事務局長及び理事に就任して以来、平成十九年度からは副理事長として、また平成二十八年からは理事長として十六年間シルバー事業に携わってまいりました。

泉南市シルバー人材センターは、平成十七年度の事業実績をピークに事業実績は伸び悩んでおりますが、平成二十一年度から派遣事業の開始、平成二十三年度には公益社団法人へ移行し、新たにシルバー人材センター事業を推進していくべく取り組んでまいりました。

時代の荒波のなかで理事長の大役を今まで果たすことができたのも、皆様のご支援のおかげであります。ありがとうございました。

超高齢社会を迎え、シルバー人材センターは福祉の受け手から新たな労働力として

社会の担い手となつて地域社会に貢献し事業を展開していくわけでございます。今やシルバー人材センターの存在は地域社会になくしてはならないものと確信しております。私はこのたび退任いたしますが、山内新理事長のもとシルバー人材センターの発展に引き続き取り組んでくださることを願っております。

泉南市シルバー人材センターの益々の発展を祈念して退任のあいさついたします。

定時総会で健康講座を開催しました

健康講座を受講する
会員のみなさん

講師にキャラバンメイトさんを招き「住みなれた地域で、いきいきと暮らすために」と題して認知症予防などをテーマに健康講座を開催しました。身振り手振りからだを動かしながら楽しく受講しました。講座を受講された会員の皆さんは認知症サポーターに認定されました。

地域委員紹介

平成30年6月7日現在

班 名	氏 名
新 家 班	田 子 敬 一
	高 橋 幸 雄
新 家 東 班	鎌 田 敏 明
	柳 楽 威 夫
信 達 班	花 房 功
	中 尾 進
	森 大 祐
	清 水 智恵子
一 丘 班	岡 山 功
	佐 伯 定 男
砂 川 班	鏡 園 政 俊
	北 垣 巖 文
	仲 村 學
東 班	原 利 秋
雄 信 班	隅 田 茂
	高 岡 正 明
	和 田 正 臣
樽 井 班	岡 本 晃
	櫛 田 義 弘
	澤 田 フサコ
	三 由 稔
鳴 滝 班	藤 内 政 義
	森 浩 輔 (委員長)
	山 本 夕エ子
西 信 達 班	三重野 美江子
	後 藤 市 郎
	山 本 恵 子 (副委員長)

役員紹介

平成30年6月7日現在

役職名	氏 名
顧 問	山 本 稔
役職名	氏 名
理 事 長	山 内 洋
副理事長	丸 山 邦 明
常務理事	中 野 道 子
理 事	中 野 善 史
理 事	清 水 智恵子
理 事	水 口 哲 夫
理 事	北 垣 巖 文
理 事	高 岡 正 明
理 事	森 浩 輔
理 事	山 本 恵 子
理 事	山 上 公 也
監 事	西 川 勝 文
監 事	山 瀬 伊佐男
監 事	野 澤 幸 徳

会員のひろば

安全な作業を目指して

雄信班 隅田 茂

私は過去に草刈や剪定等の屋外作業経験はありませんが、職員の方や諸先輩皆様の厳しく温かいご指導を受け、三年目の現在では作業車運転の他に、貸出し備品のチェンソー等大半の作業機械が使用できるようになりました。

しかし便利で効率の良い機械の使い方を一歩誤れば、大きな事故の損害賠償請求事案やクレームに発展するほか、シルバー人材センターも大きな資産損失を被むることになります。

この様な事故を起こさない為に私が平素から気を付けていることについて述べてみたいと思います。

先ず初めに私の場合、体調不良の時は休みます。体調不良の時は思考力も低下し思ったように手足も動かず諸先輩に迷惑をかけるばかりか事故発生の原因にもなりかねないからです。

一方就業する日には、当日の作業割り当てを確認したうえで、藤内・小田両先輩よ

り現場の注意事項の指導を受けてから

○使用車両の燃料・タイヤ圧・潤滑油・ブレーキランプ等の仕業点検。

○作業機械の作動軸・グリス部の正常作動の点検。

○現場環境に応じた作業表示看板、カラーコーン、飛散防止ネット等の安全備品を準備。

○出発前の体操はしっかりと体を動かし身体が自由に動くようにしておくことを実践しています。

また、作業現場に到着すれば

○直近住民の皆さんに騒音・煤塵飛散等で苦情が来ないように事前に作業の理解を求めておく。

○現場確認後にチーム員で具体的な作業方法や作業手順の意思疎通を図る。

○現場の人家や駐車車両に破損を防止するために飛散防止ネットや作業表示看板・カラーコーン等の安全対策備品の設置を行う。

等の作業準備を行い、作業に従事すれば

○草刈機の刃で怪我を防止する為に作業従事者同士が接近すれば一方が離れる等の

声掛けをする。

○作業進行度に応じて場所も移動することから適宜現場に応じた安全対策備品を追加及び既設場所から移動を行う。

○設置物や車両等に損傷を与える場所では石等が飛ばないようにカルマー草刈機を用いる。

○樹木剪定等の高所作業では脚立の先端を木に結ぶ等の足場を固定及び転落防止の安全帯を使用する。

○作業現場に不用意に一般人が入って来る場合もあることから常に周囲に目配りをすることを主に心掛けています。

万が一作業中に人身事故が発生すれば本人は勿論のこと家族まで不幸になり、また相手方に対しては損害補償等の大きな損害と精神負担になります。

今後草刈班の会員皆様と一緒に、明るく楽しく仕事ができるよう事務所職員の指導を受けながら基本を守り、無事故で頑張っていく所存であります。



植木剪定講習会に参加して

信達班 林 正人

平成三十年二月二十日（火）岸和田・貝塚クリーンセンターに、私と森さんと二人で南部ブロックの剪定講習会に行つて来ました。

大きくて広くきれいな焼却場でした。この焼却場の一部分の松の剪定で各センターから、二、三人参加しており三十人ぐらい集まっていました。

午前中は室内講習でDVDビデオ等見て非常に分りやすかった。

昼から実技講習です。森さんと一緒に3mぐらいの松の剪定、脚立を真直ぐ立てたり、右へやり左へやりと移動しながら全体



を剪定する。二、三人の講師から最終的にOKをもらい無事剪定は終わりました。私が思うに、ある程度数をやっていけばケースバイケースもあり、何とか覚えていくんじゃないかと思う。これからも、一人前になるように頑張っていきたい。

莊川 桜

新家班 中谷 辰彦

シルバー人材センターの皆様始めまして、私は二月に剪定グループに所属しました。

よろしく願いいたします。現在私は、米作り二十五年度の農業を営んでいます。年々気温が高くなり、米粒の品質が悪くなっています。温暖化防止に取り組むことが、未来につながります。日本には、多くの人が資源がないと言われますが、あくまで地下資源のことで、水とか森林は豊富で年間降水量は世界平均より多く、森林面積は先進国トップの七割近くをしめている緑の国です。水と森林がこの国の歴史を作ったと思います。この瑞穂の国で六十五年生活しています。植物に縁があり樹木の剪定の経験があります。

私が印象にのこった桜の話をします。泉佐野市にある工場に名木の子孫の桜があり、剪定と土壌改良したことがあります。

この名木の桜は樹齢四百年の古木です。

昭和三十五年国の電源開発のためダムの中に沈む集落の宝物である。この古木の桜の移植は不可能とされていた、しかし不可能に挑んだ植木職人がいた丹波政光さんである。若い時から桜にける情熱がある方だからこそ移植に挑んだ。この四十トンある巨木を五十メートル高い場所に移すため枝を切り大枝だけにして重量を軽くした。枝の切り口の防腐処理にだれもしなかったコーラルールをなんども塗った。移動は高台まで四日かかったそうです。この古木の桜はみごと活着して小ぶりの白い花が咲いた。この名木の桜は岐阜県にある御母衣（みぼろ）ダムの高台にあり莊川桜（しょうかわざくら）と呼ばれています。植木剪定している一人として感動しました。

また付近は桜道と言われ旧国鉄バス名金線のバス車掌佐藤良二さんが道沿いに桜の苗木を植えていたそうです。ぜひ皆様訪れてください。

シルバーの一員として約五ヶ月ですが泉南市内の剪定に行きめずらしい木にめぐり合いました。スモークツリーや黄色い花咲くミモザなど、まだ見ぬ木として中高年のおじさんの赤いバラ、イングリッドバーグマンです。これからも会員の皆様と楽しくがんばりましょう。

ゴルフ同好会「青空会」

砂川班 北垣 巖 文

平成三十年六月十一日 台風の影響を心配しながら六月定例の「青空会」第七十一回目のコンペを地元関空クラシックゴルフ倶楽部で開催しました。当日は会員の皆さんの熱意に台風も避けてくれ時々薄日もさす絶好のゴルフ日和となり初参加二名の方を含め二十三名の参加者で大変楽しく素晴らしい大会になりました。優勝は崎山忠男さん（七十七歳）の前回に続いての二期連続優勝でした。

「青空会」は平成十三年三月に発足し今年で十八年目を迎えました。現在会員は男性三十二名、女性二名の三十四名です。最高年齢は八十四歳で毎回元気で参加して頂き皆さんの先頭になり頑張つてプレーをされております。毎年三月、六月、九月、十二月の計四回の大会を行い十一月は泉佐野市シルバー人材センターのゴルフ同好会「銀泉会」の皆さんと親睦を図る目的で交流コンペを行っております。会員の方でゴルフに興味のある方は、上手・下手は関係なくはじめての方も是非「青空会」に入会してください。仲間とのふれあい、健康と、体力を維持する為ゴルフをやりませんか。入

会希望の方は、シルバーセンター事務所までご連絡下さい。

ハイキング同好会便り

砂川班 今西 修

こんにちは、会員皆様方もお元気で仕事に励んでいることと思います。当ハイキング同好会も発足後十年がたち四季を感じながら低山ハイク、名所旧跡巡りを楽しんでいます。今年十月に、百回を迎え記念に一泊旅行を考えています。昨年十二月の例会ハイキングでは、大阪市港区にある日本で二番目に低い天保山（標高四・五三m）に行つた時、読売新聞の記者がおられて記念



天保山にて

写真、取材を受け、翌年一月九日夕刊紙に大きく掲載されて良い思い出になりました。又、今年五月の例会は、泉南の秘境と言われている昭和山（三七六・四m）に登ってきました。泉南市民の方も昭和山でどこにあるの…と聞かれます。コミュニティバスでつづら畑終点下車、府道を挟んで向い側の川上新道から尾根にとりつき新緑と小鳥のさえずりを聴きながら大阪府と和歌山県との境界稜線を南下して藪で覆われた楠峠を過ぎれば、間もなく昭和山に着きます。山頂の南側が開けていて紀ノ川や和歌山市街が遠望できます。山頂から楠畑に下り桜地蔵バスまで歩いて砂川駅で解散しました。同好会も高齢化し七十代の方が多数です。でも、皆さんお元気です。これからも会員一同、健康に留意し安全なハイキングを目指して行きたいと思っております。自然の中を歩いていると、身も心もリフレッシュしてストレス発散できます。会員の皆様も歩くのが、好きな方は同好会に入りませんか？

春の交通安全講習会に参加

四月十五日（日）午前十時から正午まで、泉南自動車教習所において泉南警察署主催の「高齢者自転車・自動車交通安全教室」が開催されました。山内副理事長はじめシ

ルバー人材センター会員二十九名が参加しました。泉南自動車教習所職員のあいさつから始まり、泉南警察署・交通係長による「春の全国交通安全運動」について、本年度の重点取り組み内容や、大阪府下と泉南署管内における交通事故の状況報告がありました。とくに高齢者による交通事故の増加が心配され、交通事故防止にしっかりと活動展開している報告もありました。

続いてVTR研修があり「きずなの町物語」を鑑賞しました。内容はある日突然、高齢者の父親と中年の息子の年齢が入れ替わり、中年役になった父親が、高齢役になった息子が演じる車の運転等の生活状況を見守るという筋書きでした。高齢の息子が加齢による運動機能低下や判断遅れなどが、交通事故に結びつきそうなことが多く、高齢の息子と交通安全について父親が心を痛め、高齢者の交通安全を考える内容でした。

教習所のコースを教習車実技講習もありました。通行指示に従っての教習車運転、交差点での信号確認、横断歩道での横断者の有無確認、自転車の飛び出しの有無確認、駐停車の側面通過時に停車中の車のドアが急に開くことがあり十分な間隔を確保しての安全走行が重要であると体験しました。新しい取り組みとして走行中の車両（トラック、乗用車、單車）の速度を推測する。



次にその速度で走行中の車両が急ブレーキをかけたとき停車できる距離がどれだけ必要かの実験が行われた。車両の大きさの違いで見る想定速度も異なり、停止距離にも大きな差異が確認でき「車はすぐには止まらない！」を実感できました。

参考として注意すべき子供への対応について話がありました。子供は大人にくらべて視野が狭く見えている範囲が小さいので車両の接近に気付きにくい傾向があるので気をつけてくださいとのことでした。

開講時には小雨模様でしたが、コース実習の時は雨もあがっており日頃気づいていない交通安全について、反省や、再認識する機会となりました。

センター主催の植木剪定講習会を開催しました

植木剪定講習会を三月五日、六日に開催しました。講師に「エバグリーン貴樹」より高木正彦氏をお招きし二日間の日程で開催しました。一日目はセンター会議室で花木の種類や剪定時期について講義。二日目はりんくう南浜公園に場所を移し、脚立の安全な立て方、剪定ハサミ等の使い方を教えていただきました。午後からは実際に道具を使用してツツジ、サザンカの剪定を行いました。一日目十一名、二日目十七名と多数参加いただきました。ありがとうございました。



